



須賀川市立第二小学校 グランドデザイン ～地域の信頼にこたえる学校づくりのために～

第二小学校の児童たちが、学力を充実・向上させながら、健康で、伸びやかに、たくましく成長することは、全ての保護者そして地域の方々の願いであります。また、それらを学校教育で実現することも強く望まれており、期待も益々大きくなってきております。

従来は、どちらかというと「学校での教育は学校まかせ」というところがありました。しかし、現在は、学校だけの教育では、望ましい教育活動の実践や健全な児童の育成という点で十分ではありません。そのためには、学校・家庭・地域が連携し、それぞれが適切な役割を担っていく中で、学校教育の質を高めさせていく必要があります。

そこで、本校では、「須賀川市立第二小学校グランドデザイン(学校経営・運営の全体構想)」(別紙をご覧ください)を作成し、本校の教育目標とそれに基づく具体的計画・達成目標について保護者や地域の皆さんにお知らせし、よりよい教育活動をおこなっていきたいと考えております。

本校の全教職員が、自覚と使命感をもち、組織力を生かして本校の教育目標を達成してまいります。どうぞご理解とご協力・ご支援をお願いいたします。

やってみせて、させてみる。子どもを後押しする姿勢が重要！

今年5月に国立青少年教育振興機構は、「子どもの生活力に関する実態調査」結果を発表しました。あいさつや身の回りの世話など、子どもの生活上必要な力(生活スキル)は、「親が手本を示したり、一緒に体験を通じて教えたりすれば身に付く半面、小言や叱責だけだと効果が見られない」との結果を示しました。同機構は「やってみせて、させてみる。子どもを後押しする姿勢が重要」と分析しています。

※調査は、生活スキルを「コミュニケーション」「礼儀・マナー」「家事・暮らし」「健康管理」「課題解決」の5つに分類し、小学4～6年、中学2年、高校2年と保護者を対象に実施したもの。

しつけは「共に体験」が大切

報告書によりますと、保護者の「体験支援」的・「生活指導」的な関わりが多いほど、子どもの生活上必要な力(コミュニケーション力やマナー、課題解決力などの生活スキル)が高くなる傾向が見られ、「もっと頑張らなさい」というような、保護者の叱咤激励的な関わりとの程度と、生活スキルの向上との関連はみられない、とのことでした。

さらには、自然体験やお手伝い、読書をすることが多い子どもほど、生活スキルが高く、ゲームをすることが多い子どもほど生活スキルが低い傾向がみられるようです。

ゲームや携帯等を買与えるときは、使用について家庭でのルール作りが大切です。

チェックしてみてください→

「体験支援」的な関わりとは

- ・自分の体験したことを話している
- ・子どものやりたいことをできるだけ尊重している
- ・勉強以外の様々なことをできるだけ体験させている
- ・よくほめている
- ・家の中でのルール・約束事を決めている
- ・子どもとスポーツ以外の趣味を一緒に楽しんでいる
- ・子ども自身でできることは自分でさせている

「生活指導」的な関わりとは

- ・学校のない日にも早寝早起きをさせている
- ・一日三食きちんと食事をさせている(給食を含む)
- ・きちんとあいさつをさせている

「叱咤激励(しつたげきれい)」的な関わりとは

- ・よく「もっとがんばらなさい」と言っている
- ・よく小言を言っている
- ・しっかり勉強するように言っている
- ・子どもと意見が違うとき、あなたの意見を優先させている

2 学年の「町探検」 ボランティアティーチャー大活躍

2 学年の生活科では、「住んでいる地域について知り、今まで以上に『自分たちの町』としての誇りをもち、郷土への愛着の心情を育てる。」ことを目標に「町はたからばこ『お店をたんけんしよう』」という学習があります。6 月 12 日に 2 学年の 18 名のボランティアティーチャーとともに学区内の商店街を訪問しました。お忙しいなか、懇切丁寧に対応していただきました商店街の皆様方に感謝申し上げます。

ご協力いただきました 2 学年のボランティアティーチャーの皆様です。 敬称略

- 1 組 山寺香織、常松まなみ、秋野未来、米倉裕美、瀧川麻由子、早川智恵子
- 2 組 鶴川裕子、長沼裕美、井野元奈生実、宗像礼子、田中美帆、小林津奈子
- 3 組 齋藤久美子、石堂和孝、木船知子、鈴木恵理、駒木根紀子、深谷ひろみ



13 名の選手が県大会出場 活躍に期待！

7 月 5 日(日)日清食品カップ第 31 回全国小学生陸上競技交流大会が、福島市とうほう・みんなのスタジアム（あづま陸上競技場）で行われます。本校は予選を勝ち抜いた 13 名の選手が出場します。応援よろしくお願いします。（詳しくは前回の学校だよりをご覧ください）

〈県大会出場選手〉

原一心、村田叶実、山田陽菜、岩崎心海、須田日菜子、永沼さくら、薄井駿、吉川修平、行方和厚、深谷勝永（以上 6 年）大槻茉央、渡辺瑞季、寺澤璃咲（以上 5 年）

陸上の県大会に向けて 6 年 須田日菜子

7 月 5 日の県大会に向けて、毎日放課後リレーの練習に励んでいます。予選の時のタイムより、一人 0.5 秒ちぢめるのが今の私達の目標です。また、毎日厳しく指導をしてくださる先生方に恩返しをするのが、私達の夢です。でも、私の好きな歌に「本当は夢っていうのは叶えるものじゃなくて共に泣いたり笑ったりするものなんだ。」という歌詞があります。だから、私達は今、夢の真っ最中だと思いながら走っています。

夢の真っ最中 ～陸上練習から～



吉田久美子先生着任

よろしくお願いします

6 年 3 組担任の國分加奈先生が 8 月に出産予定のために、6 月 18 日（木）から産前産後休暇に入りました。その代わりとして、吉田久美子先生が着任しました。前任者同様ご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

6 年 3 組担任 吉田 久美子

赴任して数日。子供達からたくさんのパワーをもらっています。朝から元気が出るあいさつは、とても気持ちがいいです。また、清掃では、上学年の人が下学年に教えながら、一生懸命に黙々と清掃する姿に驚きました。これから子供達と一緒に勉強したり遊んだりたくさんふれ合っていきたいです。よろしくお願いします。

